

新規導入編

ここでは、J-BIM施工図CAD 2020を新規にセットアップする方法を解説します。

お使いのJ-BIM施工図CADをバージョンアップする方法、または追加購入したオプションプログラムをセットアップする方法については、J-BIM施工図CADのインストールDVD内の「セットアップガイド」より「バージョンアップ/オプション追加編」をご覧ください。

1. セットアップの前に.....	2
2. プログラムのインストール.....	4
3. プログラムの起動（ネット認証 占有）.....	6
【補足】 ネット認証（占有）で別の製品を使用している場合.....	7
4. FCコンシェルジュのユーザー登録.....	8
【補足】 プロダクトIDの自動認証/認証解除の設定を変更するには.....	9
【補足】 プロダクトIDの認証を手動で解除するには.....	9
【補足】 J-BIM施工図CADのマニュアルについて.....	10
【補足】 DVDに収録されているツールについて.....	10
5. ネット認証LANのセットアップ.....	11
6. プログラムの起動（ネット認証 LAN）.....	13
【補足】 ネット認証LANサーバーの機能.....	14
7. プログラムの起動（ネット認証 共有）.....	15
8. SNS-Wのセットアップ.....	16
9. SNS-LAN-Xのセットアップ.....	17
10. プログラムの起動（USBプロテクト）.....	19
【補足】 SNS-LAN-Xサーバーの機能.....	20

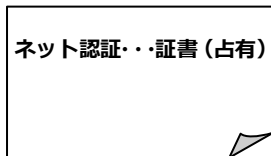
1 セットアップの前に

プロテクトタイプの確認

J-BIM 施工図 CAD のプロテクトには次の 5 種類があります。

お持ちのタイプを確認し、ネット認証ライセンス証書または USB プロテクトを準備します。

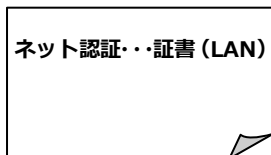
ネット認証ライセンス（占有）



USBプロテクト【SNS-W】



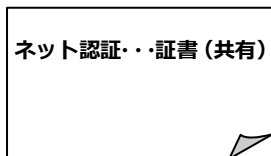
ネット認証ライセンス（LAN）



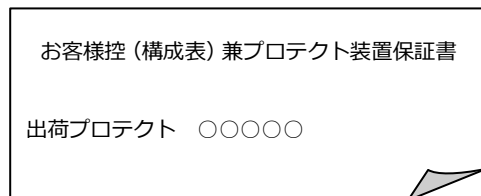
USBプロテクト【SNS-LAN-X】



ネット認証ライセンス（共有）



※ プロテクトタイプは、同梱の「お客様控（構成表）兼プロテクト装置保証書」にも記載されています。



●セットアップの前に確認してください

- ・セットアップするには、「コンピューターの管理者（Administrators）」権限のアカウントでサインインしている必要があります。
- ・セットアップ中にコンピューターの再起動が必要な場合があります。起動中のプログラムがあれば、終了しておきます。
- ・お使いのウィルス対策ソフトによっては、セットアップ時に警告メッセージが表示される場合があります。このような場合には、ウィルス対策ソフトなどの常駐プログラムを一時的に終了してから、セットアップを行ってください。

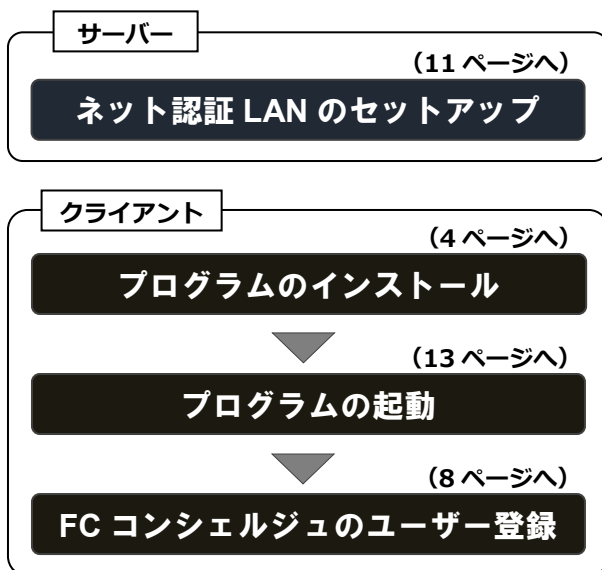
新規セットアップの流れ

J-BIM 施工図 CAD 新規セットアップは、プロテクトのタイプに応じて以下のような流れになります。

■ ネット認証ライセンス（占有）の場合



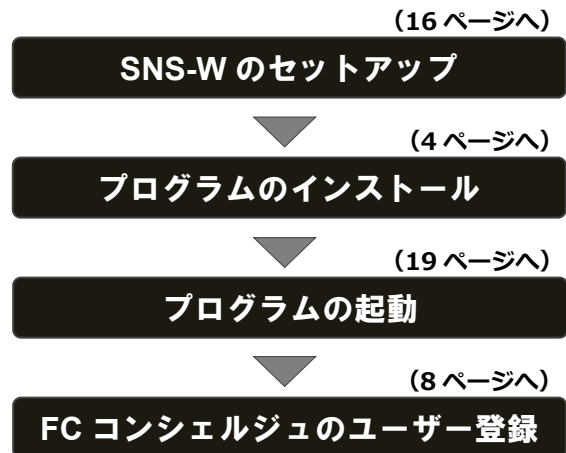
■ ネット認証ライセンス（LAN）の場合



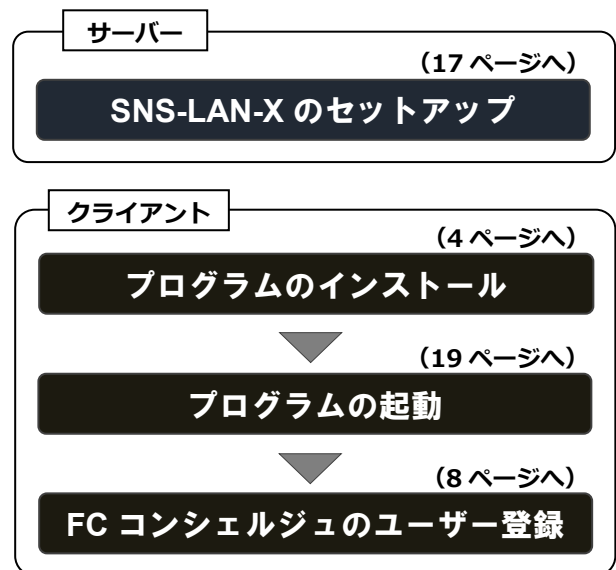
■ ネット認証ライセンス（共有）の場合



■ USB プロテクト【SNS-W】の場合



■ USB プロテクト【SNS-LAN-X】の場合



2 プログラムのインストール

J-BIM 施工図 CAD と関連するプログラムを新規にインストールします。

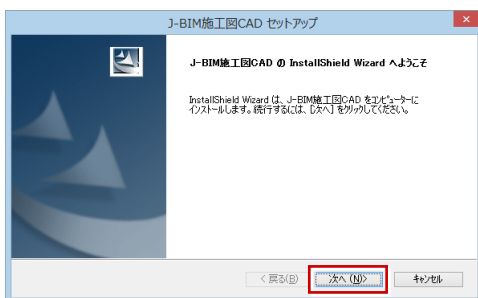
1. コンピューターに「J-BIM 施工図 CAD のインストール DVD」をセットします。

2. 「J-BIM 施工図 CAD 2020」をクリックします。

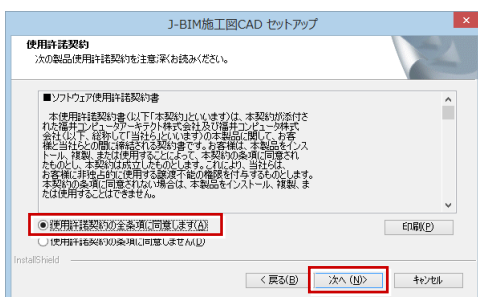


※ 上記画面が表示されない場合は、DVD 内の「Install.exe」実行してください。

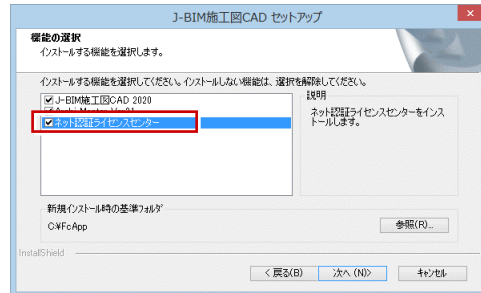
3. 次へ進みます。



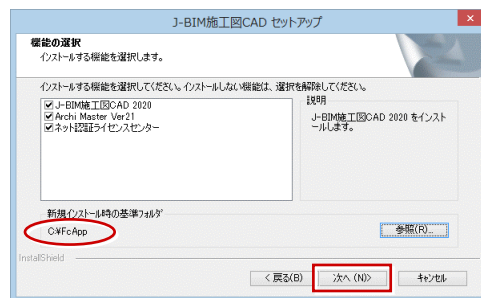
4. 「使用許諾契約の全条項に同意します」を選択して次へ進みます。



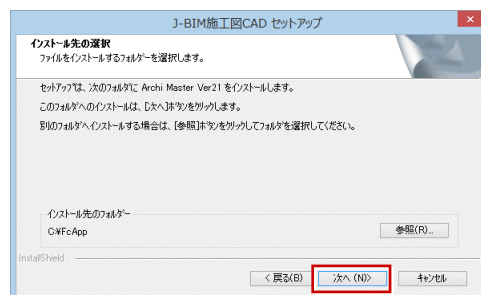
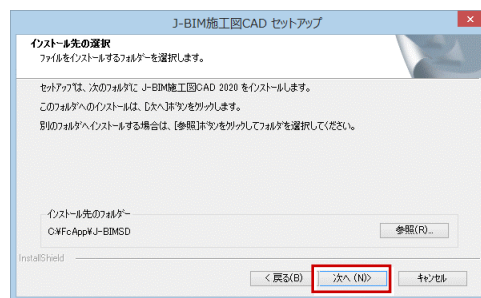
5. プロダクトがネット認証の場合は、「ネット認証ライセンスセンター」をオンにします。



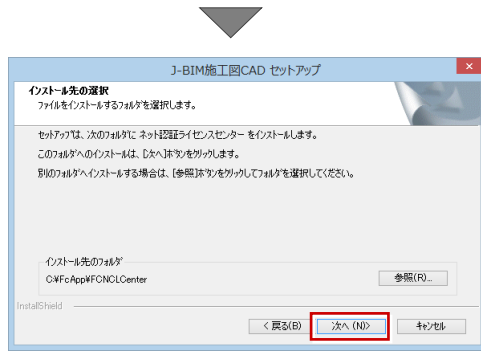
6. インストール先を確認して次へ進みます。例えば D ドライブにインストールする場合は、「参照」をクリックして、パスを「D:¥FcApp」に変更します。



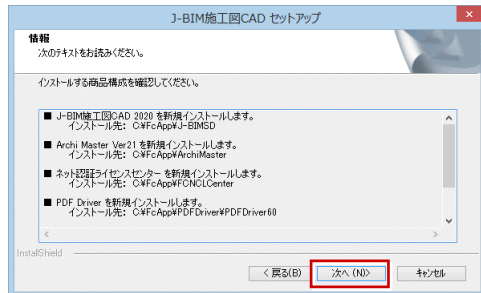
7. インストール先のフォルダを確認して次へ進みます。



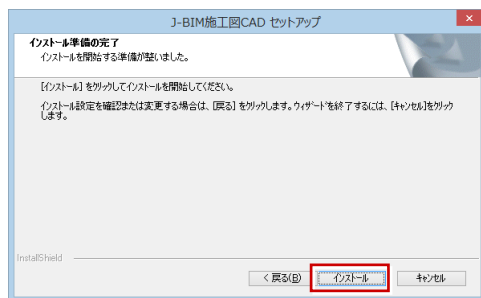
(次ページへ進みます)



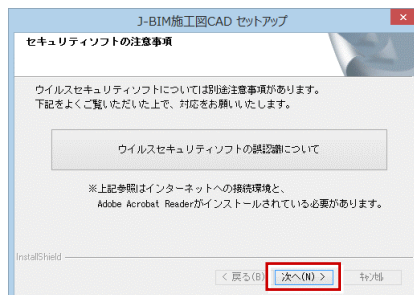
8. アプリケーションと関連プログラムのインストール方法とインストール先を確認して次へ進みます。



9. 「インストール」をクリックしてインストールを開始します。



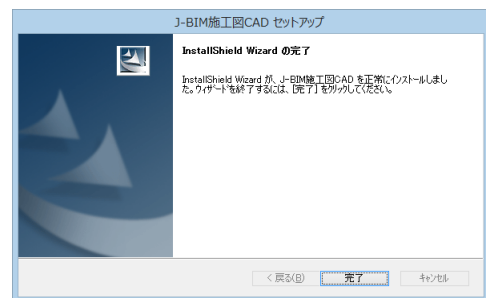
10. セキュリティソフトの注意事項を確認して次へ進みます。



11. 「完了」をクリックして、コンピューターを再起動します。



- ※ 完了のメッセージが表示されたら「完了」を押して、画面を閉じます。



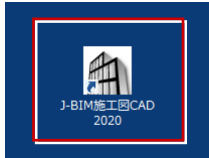
以上でプログラムのインストールは完了です。
 デスクトップに作成されたJ-BIM 施工図CADアイコンをダブルクリックして、プログラムを起動してみましょう。

ネット認証ライセンス（占有）の方は6ページ
 ネット認証ライセンス（LAN）の方は13ページ
 ネット認証ライセンス（共有）の方は15ページ
 USBプロテクト【SNS-W】の方は19ページ
 USBプロテクト【SNS-LAN-X】の方は19ページ
 へ進みます。

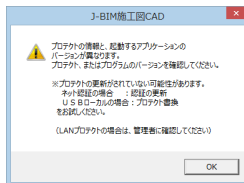
3 プログラムの起動(ネット認証 占有)

プロダクト ID を認証して、J-BIM 施工図 CAD を起動します。

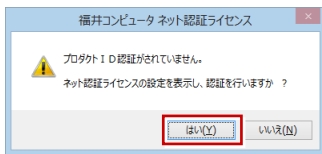
1. デスクトップの J-BIM 施工図 CAD アイコンをダブルクリックします。



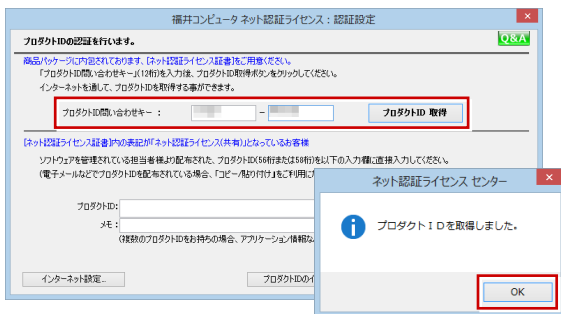
- ※ ネット認証（占有）を別の製品で使用中の場合は、プロダクトの確認メッセージが表示されます。**7 ページ**を参照して、プログラムを起動してください。



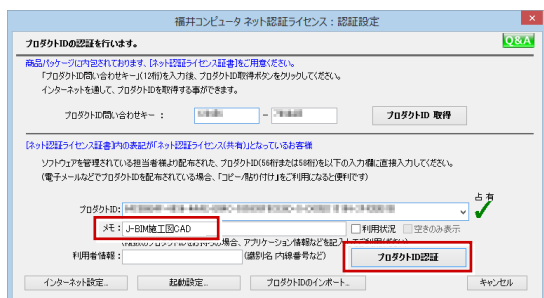
2. 初めての起動の場合、認証のメッセージが表示されます。「はい」をクリックします。



3. 「ネット認証ライセンス証書（占有）」に記載されている 6 桁+6 桁の「プロダクト ID 問い合わせキー」を入力して、「プロダクト ID 取得」をクリックします。



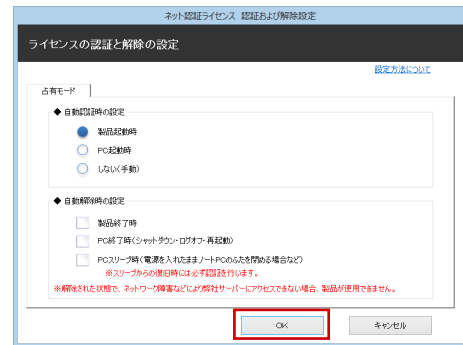
4. 「プロダクト ID」が取得されます。「メモ」に製品名などを入力して、「プロダクト ID 認証」をクリックします。



プロダクト ID の取得や認証が正常にできない場合は、「インターネット設定」を押して、プロキシ設定を変更してみてください。

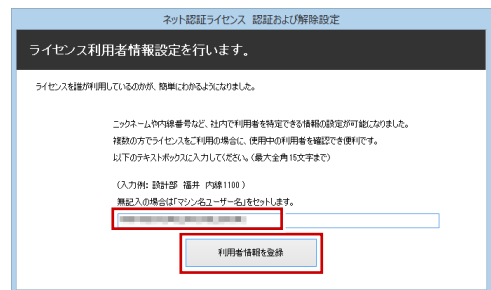
5. 「ネット認証ライセンス 認証および解除設定」画面が表示されます。

ご利用の環境に合わせて、「自動認証時の設定」と「自動解除時の設定」を選択します。



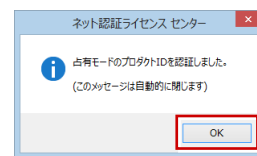
- ※ この設定により、どのタイミングでプロダクト ID を認証／解除するかが決まります。あとから設定を変更する方法については、**9 ページ**を参照してください。

6. 利用者情報を入力して「利用者情報を登録」を押します。



- ※ 利用者情報は、プロダクト ID の利用者を確認する際に使用されます。社員番号やコンピューターの識別名など利用者进行特定できる情報を入力してください。

7. 認証完了のメッセージを閉じます。



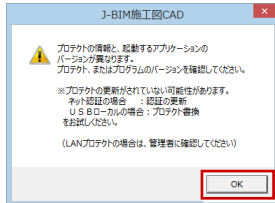
J-BIM 施工図 CAD が起動します。

プログラムが起動することを確認したら、FC コンシエルのユーザー登録を行ってください。
(8 ページへ進みます)

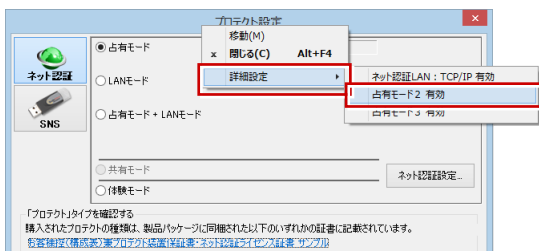
補足 ネット認証（占有）で別の製品を使用している場合

すでに弊社製品をネット認証ライセンス（占有モード）で使用している場合、J-BIM 施工図 CAD のプロダクト ID は、占有モード 2、もしくは占有モード 3 を使って追加認証してください。ここでは、占有モード 2 を使用する操作で解説します。

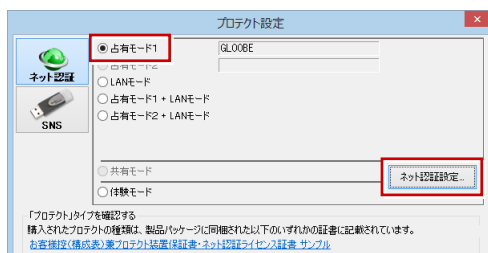
1. J-BIM 施工図 CAD 起動時に、プロダクトの確認メッセージが表示された場合は、「OK」をクリックしま



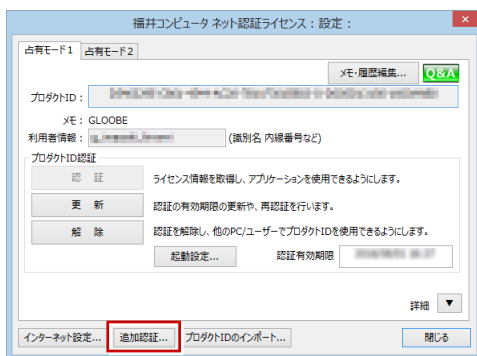
2. 「プロダクト設定」画面のタイトルバーを右クリックして、「詳細設定」の「占有モード 2 有効」を選びます。



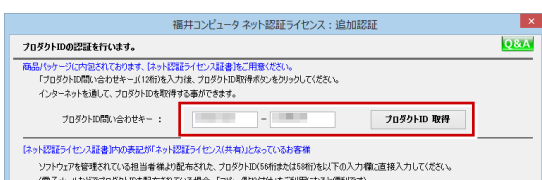
3. 「占有モード 1」が ON であることを確認して、「ネット認証設定」をクリックします。



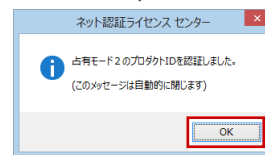
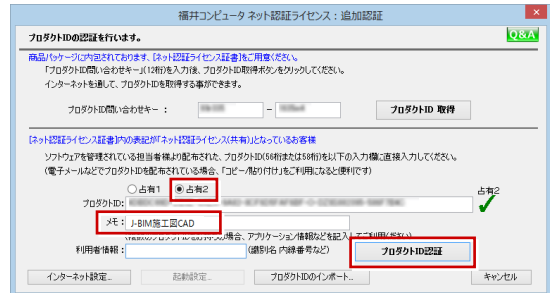
4. 「追加認証」をクリックします。



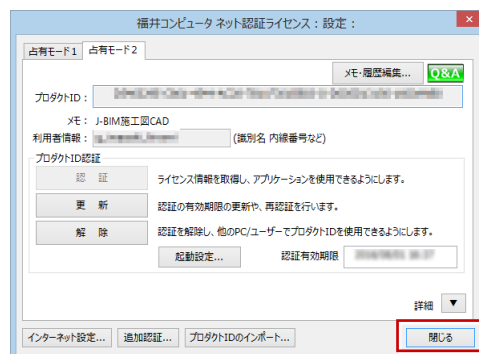
5. 「ネット認証ライセンス証書（占有）」に記載されている 6 桁+6 桁の「プロダクト ID 問い合わせキー」を入力して、「プロダクト ID 取得」をクリックします。



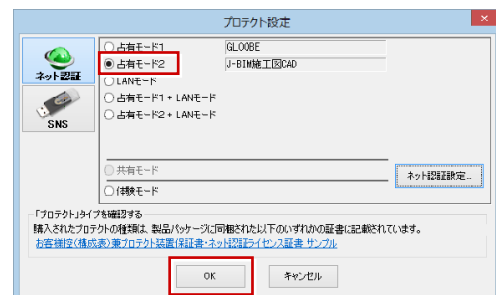
6. 「プロダクト ID」が取得されます。「占有 2」を ON、「メモ」にこのプロダクト ID で利用できる製品名などを入力して、「プロダクト ID 認証」を押します。



7. 「閉じる」をクリックします。



8. 「占有モード 2」が ON であることを確認して、「OK」をクリックします。



プログラムが起動します。

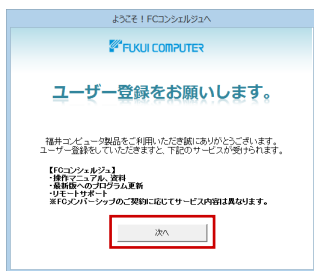
4 FC コンシェルジュのユーザー登録

FC コンシェルジュは、福井コンピュータグループが提供する各種 WEB サービスを管理するアプリケーションです。ユーザー登録を行うと、以下のようなサービスを利用することができます。

- ご利用の製品に関する最新情報のご案内
- ご利用の地域でおこなわれるイベントやセミナーのご案内
- 電話サポートの情報やリモートサポートの接続
- ソフトウェアのアップデート、個別ダウンロードなど

※ FC コンシェルジュのご利用には、インターネットに接続できる環境が必要です。

1. 「ユーザー登録を…」画面が表示されている場合は、「次へ」をクリックします。



※「ユーザー登録を…」画面が表示されていない場合は、デスクトップのアイコンをダブルクリックしてください。

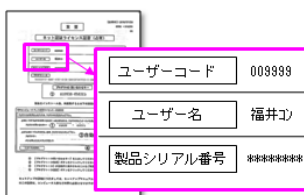


2. 「ソフトウェア使用許諾契約書」に同意します。

3. ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、「はい」をクリックします。

4. 「ユーザーコード」と「製品シリアル」の入力を求められた場合は、「ネット認証ライセンス証書」を参照して入力します。

ネット認証ライセンス証書



USB プロテクト裏面のシール



5. ご契約者情報が表示されたら、「ご利用者名」「メールアドレス」などを入力して「登録する」をクリックします。

6. ユーザー登録が完了すると、FC コンシェルジュのご案内ページが開きます。



7. 上部のボタンを押して、ページを切り替えます。画面例：プログラム更新



※ 詳しくは FC コンシェルジュ画面左下の「FC コンシェルジュヘルプ」を参照してください。

以上で J-BIM 施工図 CAD の新規セットアップは完了です。マニュアルを利用して、J-BIM 施工図 CAD の基本操作編を習得しましょう。詳しくは 10 ページの「補足：J-BIM 施工図 CAD のマニュアルについて」をご覧ください。

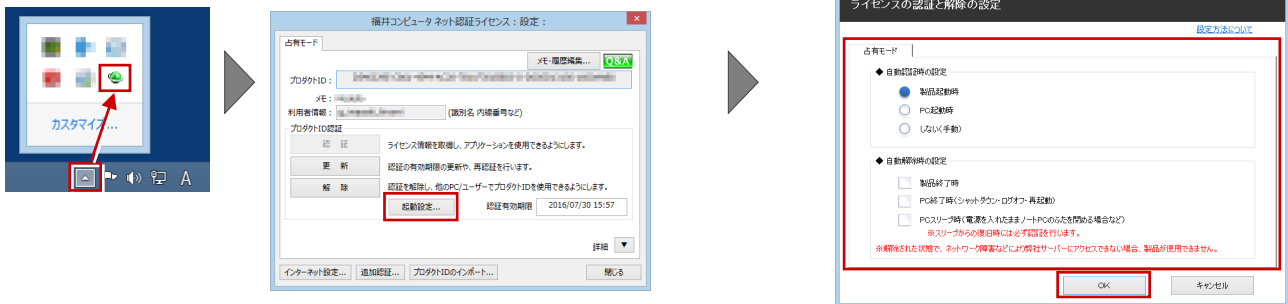
補足 プロダクト ID の自動認証/認証解除の設定を変更するには

プロダクト ID の自動認証および認証解除のタイミングを変えたい場合は、以下の手順で設定を変更します。

■ FC コンシェルジュを使用している場合



■ FC コンシェルジュを使用していない場合



Windows 画面右下のタスクバーのアイコンから「ネット認証ライセンスセンター」を起動して、「起動設定」をクリックします。

補足 プロダクト ID 認証を手動で解除するには

お使いのプロダクト ID を、他のユーザーまたは他のコンピューターで使用したい場合は、以下のように手動で認証を解除します。

■ FC コンシェルジュを使用している場合



■ FC コンシェルジュを使用していない場合



Windows 画面右下のタスクバーのアイコンから「ネット認証ライセンスセンター」を起動します。

4. FC コンシェルジュのユーザー登録

補足 J-BIM 施工図 CAD のマニュアルについて

J-BIM 施工図 CAD の最新のマニュアルやサンプルデータは、ユーザーサポートサイトからご利用できます。ユーザーサポートサイトは、J-BIM 施工図 CAD のヘルプや FC コンシェルジュからも開くことができます。FC コンシェルジュからアクセスした場合は、「建築 CAD 製品をご利用のお客様」を選び「J-BIM 施工図 CAD」のページに進んでください。

■ ヘルプから開く場合



■ FC コンシェルジュから開く場合



※上記は、将来予告なく変更する場合があります。

補足 DVD に収録されているツールについて

DVD には J-BIM 施工図 CAD のほかに、以下のアプリケーション、ツールが収録されています。



● ARCHITREND Manager / パーススタジオ P-style / ARCHI Box for Windows

ARCHITREND Manager、パーススタジオの P-style、ARCHI Box for Windows をインストールします。J-BIM 施工図 CAD のほかに、いずれかのアプリケーションやサービスを購入している場合は、ここからインストールしてください。

● SXF コンバータ

J-BIM 施工図 CAD の図面データを電子納品用のファイルフォーマット SXF 形式 (p21、sfc) に変換するには、このボタンをクリックして変換ツールをインストールしてください。

● Get Adobe Acrobat Reader

マニュアルなどの PDF ファイルをご覧になるには、PDF 閲覧ツール Adobe Acrobat Reader が必要です。お使いのコンピュータにインストールされていない場合は、「J-BIM 施工図 CAD インストール」の「Get Adobe Acrobat Reader」をクリックしてインストールしてください。 ※ インターネットに接続できる環境が必要です。

5 ネット認証 LAN のセットアップ

Step1 ネット認証 LAN サーバーのインストール

使用するサーバーに、ネット認証 LAN サーバーをインストールします。

※ この作業中は、クライアント PC での J-BIM 施工図 CAD はご利用できません。

※ サーバーの再起動が必要になる場合がありますので、ご注意ください。

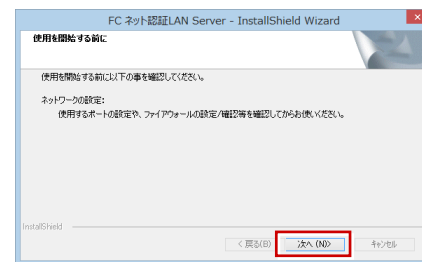
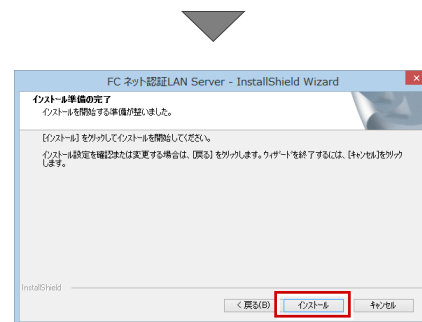
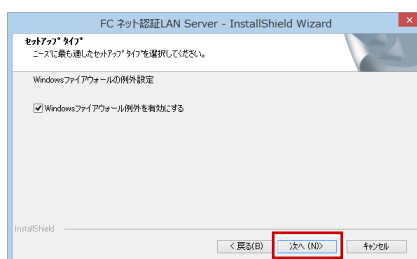
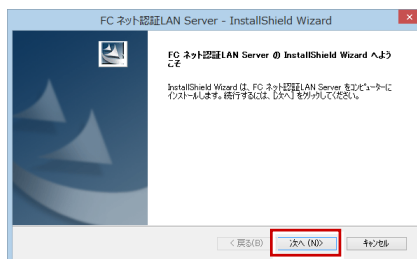
※ ネット認証 LAN サーバーの機能については、14 ページを参照してください。

1. サーバーに「J-BIM 施工図 CAD のインストール DVD」をセットします。
2. 「その他インストーラー」に切り替えて、「ネット認証ライセンス LAN モードサーバー」をクリックします。

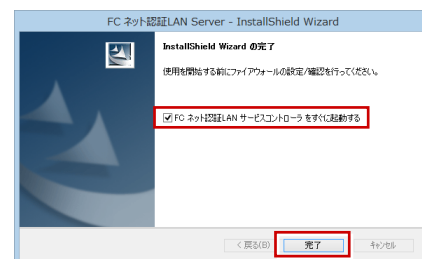


※ 上記画面が表示されない場合は、DVD 内の「Install.exe」を実行してください。

3. 表示される画面に従って、インストールを進めます。



4. 「FC ネット認証 LAN・・・すぐに起動する」にチェックを付けて「完了」をクリックします。



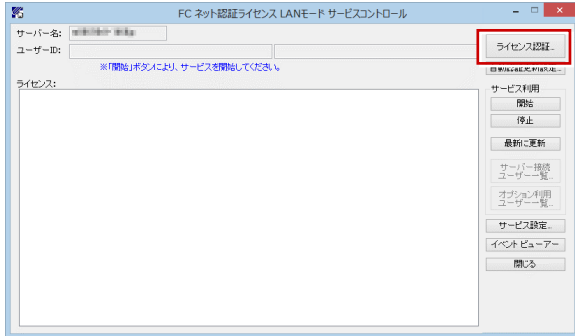
※ 再起動が必要な場合は、メッセージに従って再起動してください。

(次ページへ進みます)

Step2 プロダクト ID の認証 (サーバー)

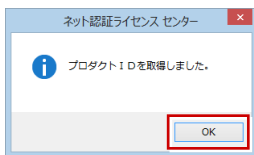
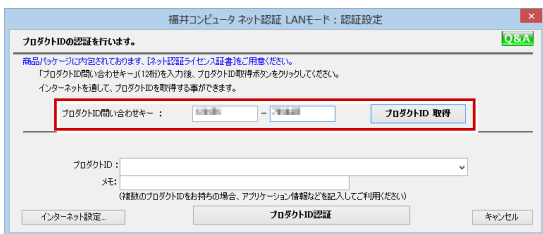
インターネットを通してプロダクト ID の認証を行い、クライアント PC からプロダクト ID に関連付けられたライセンスを利用できる状態にします。

1. 「FC ネット認証ライセンス LAN モード サービスコントロール」画面より「ライセンス認証」をクリックします。

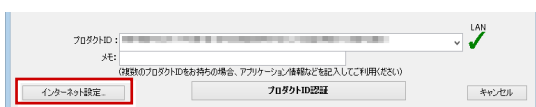


※ 上記画面が表示されない場合は、スタート画面のアプリケーションの「FC ネット認証 LAN Server」より「FC ネット認証 LAN サービスコントローラ」を起動してください。

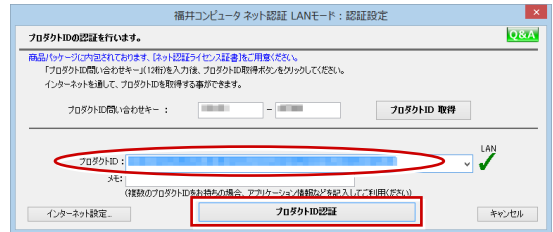
2. 「ネット認証ライセンス証書 (LAN)」に記載されている 6 桁+6 桁の「プロダクト ID 問い合わせキー」を入力して、「プロダクト ID 取得」をクリックします。



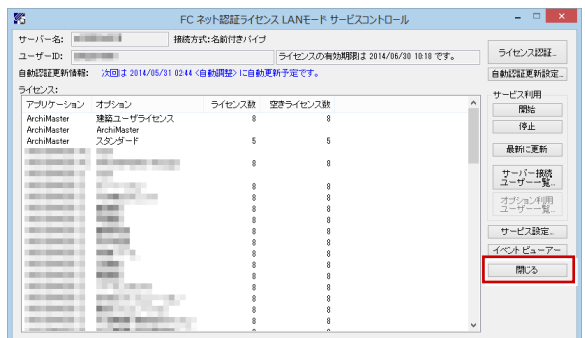
プロダクト ID の取得や認証が正常にできない場合は、「インターネット設定」を押して、プロキシ設定を変更してみてください。



3. 「プロダクト ID」が取得されたのを確認し、「プロダクト ID 認証」をクリックします。



4. ライセンス情報が取得されたことを確認し、「閉じる」をクリックします。



※ 更新されない場合には、再起動が必要となります。

以上でネット認証 LAN のセットアップは完了です。
続いて、クライアント PC でプログラムのインストールを行ってください。

(4 ページへ進みます)

6 プログラムの起動（ネット認証 LAN）

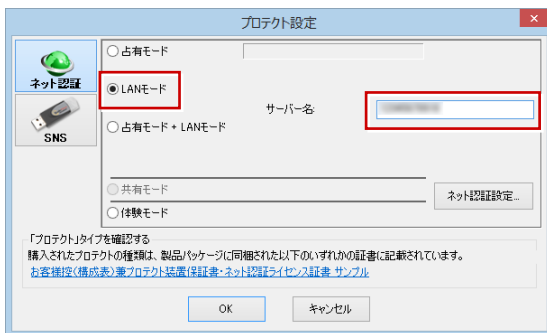
使用するプロテクトを設定して、J-BIM 施工図 CAD を起動します。

1. デスクトップの J-BIM 施工図 CAD アイコンをダブルクリックします。

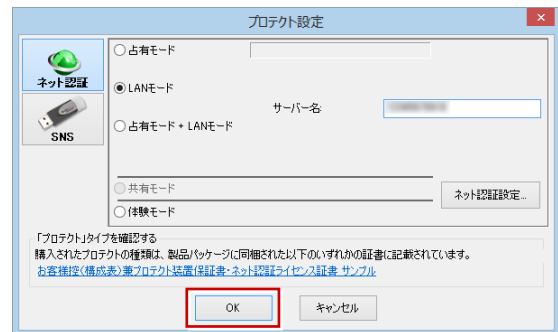


2. 初めての起動の場合、プロテクト設定画面が表示されます。

「ネット認証」の「LAN モード」をクリックして、「サーバー名」にネット認証 LAN サーバーをセットアップしたコンピューター名を入力します。

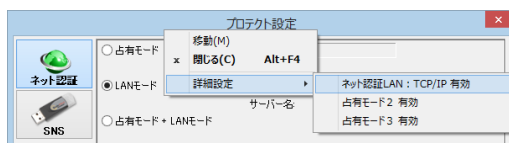


3. 「OK」をクリックして画面を閉じます。



J-BIM 施工図 CAD が起動します。

「TCP/IP ポート番号」を指定する場合は、プロテクト設定画面のタイトルバーで右クリックして、「詳細設定」の「ネット認証 LAN : TCP/IP 有効」を選択します。



「TCP/IP ポート番号」にチェックを付けて、番号を入力します。



※ ポート番号には、「ネット認証 LAN サービスコントローラ」の「サービス設定」で設定されている番号を入力してください。

プログラムが起動することを確認したら、FC コンシェルジュのユーザー登録を行ってください。

（8 ページへ進みます）

ネット認証占有とネット認証 LAN を併用している場合は、「占有モード + LAN モード」を選択してください。

補足 ネット認証 LAN サーバーの機能

ネット認証 LAN サーバーは、ライセンス情報の管理やサービスの開始/停止などを行うアプリケーションです。スタート画面のアプリ一覧の「FC ネット認証 LAN Server」より「FC ネット認証 LAN サービスコントローラ」を選択すると、次のような画面が表示されます。

The screenshot shows the main control window for the FC Network Authentication License LAN Mode Service Control. It includes fields for server name and user ID, a license table, and service control buttons. A callout box for 'サービス設定' (Service Settings) is also shown, detailing connection and logging options.

「サーバー名」
サーバーのコンピュータ名が表示されます。

「ユーザーID」
ネット認証 LAN のユーザーIDが表示されます。

「ライセンス数」
同時使用が可能なライセンス数が表示されます。

「空きライセンス数」
現在使用可能な残りのライセンス数が表示されます。

「サービス設定」
接続設定やログファイルを設定します。
「接続」タブ
接続プロトコルを設定します。
「動作ログ」タブ
使用されたアプリケーションの動作状況を記録します。
「使用状況ログ」タブ
使用されたアプリケーションの記録を定期的に残します。

「ライセンス認証」
プロダクト ID の認証・更新などを行います。

「自動認証更新設定」
ライセンスの認証自動更新について設定します。

「開始」
サービスを開始します。ネット認証 LAN を使用する場合は、サービスを開始しておく必要があります。

「停止」
サービスを停止します。

「最新に更新」
空きライセンスなどを最新の情報に更新します。

「サーバー接続ユーザー一覧」
ライセンスを使用しているユーザーを確認します。

「オプション利用ユーザー一覧」
選択したオプションを使用しているユーザーを確認します。

「イベントビューアー」
Windows 標準機能の「イベントビューアー」を開きます。ネット認証 LAN サーバーが動作しないときなど、サポートの対応時に使用します。

●「動作ログ」について

アプリケーションの動作状況を記録します。使用するには、

1. 「ログの出力」チェックボックスをオンにし、「パス」に出力先のフォルダを設定します。
2. 「FC ネット認証ライセンス LAN モード サービスコントロール」でのサービス「開始」時に、ログ出力設定が有効な場合に、ログの記録を開始します。
3. サービスの「停止」で、ログファイルが保存されます。ファイル名は、ネット認証 LAN 動作ログ_(日時).log です。

●「使用状況ログ」について

「何時間何分の」「ライセンスの空き状況」が記録されます。使用するには、

1. 「ログの出力」チェックボックスをオンにし、「パス」に出力先のフォルダを設定します（「間隔」と「最大履歴数」は適宜に設定）。
2. 「FC ネット認証ライセンス LAN モード サービスコントロール」が表示されている状態で、ログの取得が開始されます。
3. 「FC ネット認証ライセンス LAN モード サービスコントロール」を閉じると、ログファイル（FukuiComputer.TrendX.InetUserLicensing.Service.Controller.log）が保存されます。
4. 再度「FC ネット認証ライセンス LAN モード サービスコントロール」を起動すると、前のログファイルは別ファイル（ログファイル名+日付）で残され、新たなログの取得が開始されます。

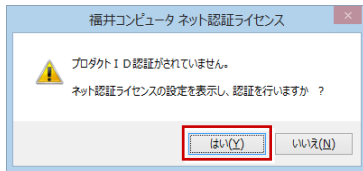
7 プログラムの起動（ネット認証共有）

プロダクト ID を認証して、J-BIM 施工図 CAD を起動します。

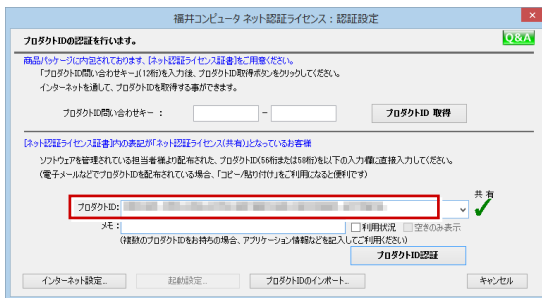
1. デスクトップの J-BIM 施工図 CAD アイコンをダブルクリックします。



2. 初めての起動の場合、認証のメッセージが表示されます。「はい」をクリックします。

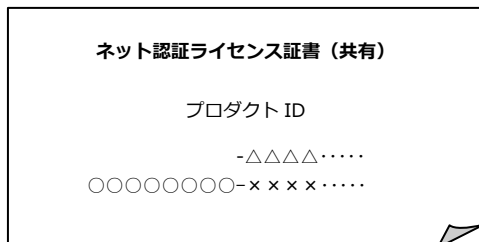


3. ソフトウェア管理者より配布された「プロダクト ID」を入力します。

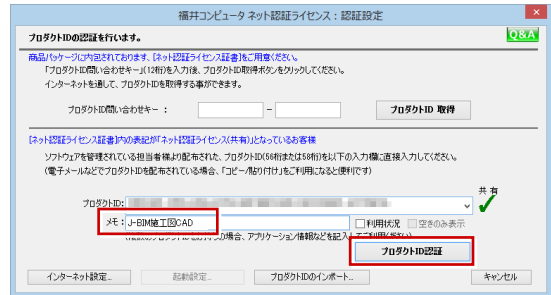


● ソフトウェア管理者の方へ

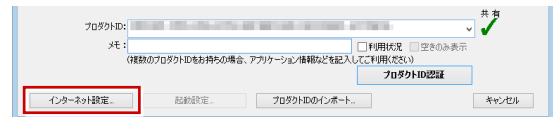
ライセンスの認証で必要になる「プロダクト ID」は、「ネット認証ライセンス証書（共有）」に記載されています。ソフトウェア管理者の方は、あらかじめどのユーザーがどの「プロダクト ID」を使用するか決めて配布しておいてください。



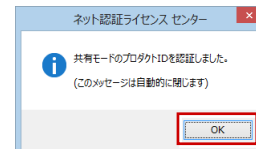
4. 「メモ」に製品名などを入力して、「プロダクト ID 認証」をクリックします。



プロダクト ID の取得や認証が正常にできない場合は、「インターネット設定」を押して、プロキシ設定を変更してみてください。



5. 認証完了のメッセージを閉じます。



J-BIM 施工図 CAD が起動します。

プログラムが起動することを確認したら、FC コンシェルジュのユーザー登録を行ってください。
(8 ページへ進みます)

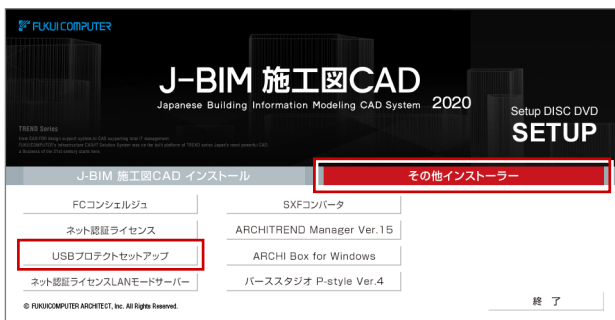
8 SNS-W のセットアップ

J-BIM 施工図 CAD をセットアップするコンピューターに、USB プロテクトのシステムをインストールします。

1. 弊社製品のプロテクトに限らず、コンピューターに USB プロテクトが装着されている場合は、すべて外しておきます。

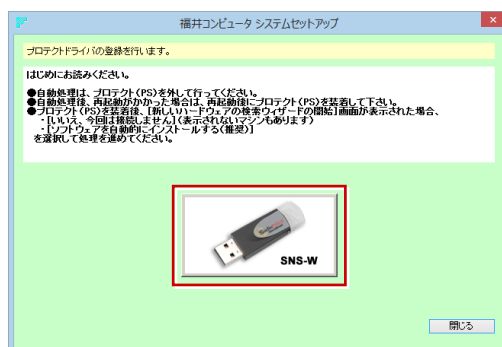
2. コンピューターに「**J-BIM 施工図 CAD のインストール DVD**」をセットします。

3. 「**その他インストーラー**」に切り替えて、「**USB プロテクトセットアップ**」をクリックします。

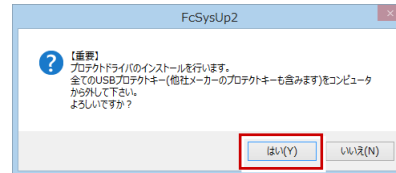


※ 上記画面が表示されない場合は、DVD 内の「Install.exe」を実行してください。

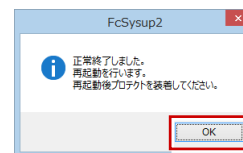
4. 「**SNS-W**」をクリックします。



5. 全ての USB プロテクトキーをコンピューターから外したら、「**はい**」をクリックします。



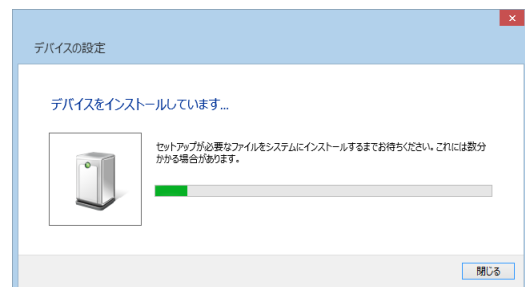
6. インストールが終了したら「**OK**」をクリックして、再起動を行います。



7. 再起動後、コンピューターに USB プロテクトを装着します。



プロテクトが認識され、デバイスがインストールされます。



以上で USB プロテクトのセットアップは完了です。
続いて、J-BIM 施工図 CAD のインストールを行ってください。

(4 ページへ進みます)

9 SNS-LAN-X のセットアップ

Step1 システムセットアップ

ライセンスを管理するサーバーに、USB プロテクト【SNS-LAN-X】のシステムをインストールします。

※ サーバーの再起動が必要になる場合がありますので、ご注意ください。

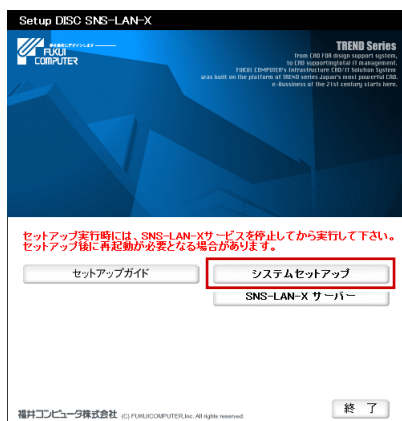
1. 弊社製品のプロテクトに限らず、サーバーに USB プロテクトが装着されている場合は、すべて外しておきます。

2. サーバーに「SNS-LAN-X 用ライセンス CD」をセットします。



SNS-LAN-X 用ライセンス CD

3. 「システムセットアップ」をクリックします。



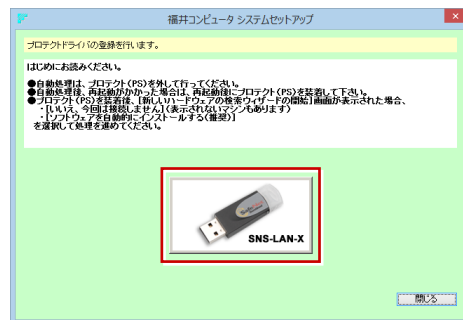
※ 上記画面が表示されない場合は、CD 内の「Install.exe」を実行してください。

4 コンピューターの日時を確認し、USB プロテクトの画像ボタンをクリックします。

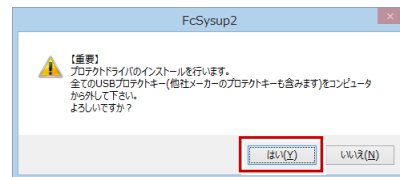


※ 日時がずれていると、ライセンスを正しく認識できません。「日時の変更」をクリックして、正確な日時を指定してください。

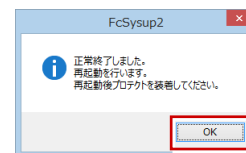
5. 「SNS-LAN-X」をクリックします。



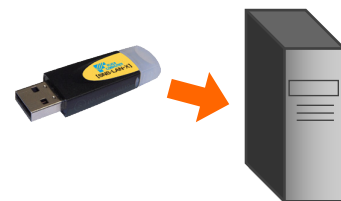
6. 全ての USB プロテクトキーをサーバーから外したら「はい」をクリックします。



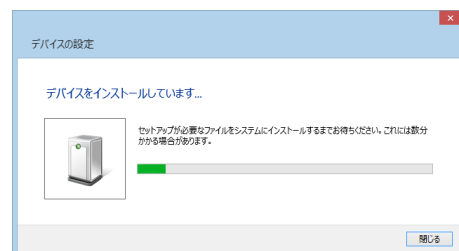
7. インストールが終了したら「OK」をクリックして、再起動を行います。



8. 再起動後、サーバーに USB プロテクトを装着します。



プロテクトが認識され、デバイスがインストールされます。



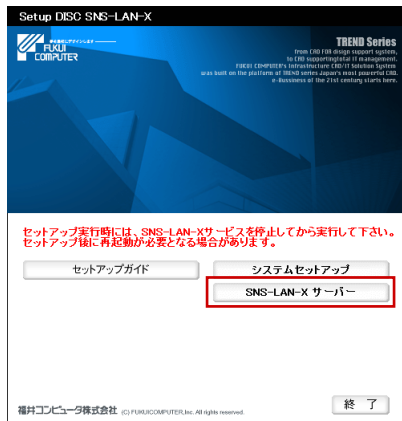
(次ページへ進みます)

Step2 SNS-LAN-X サーバーのインストール

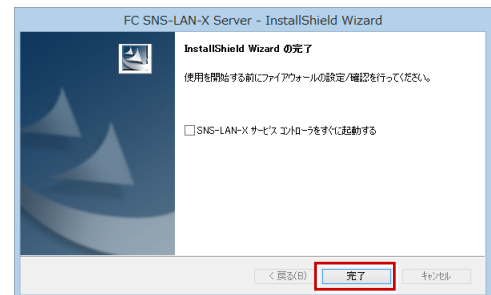
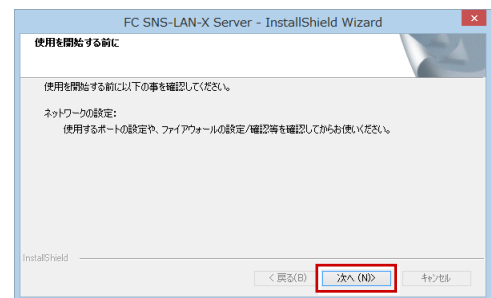
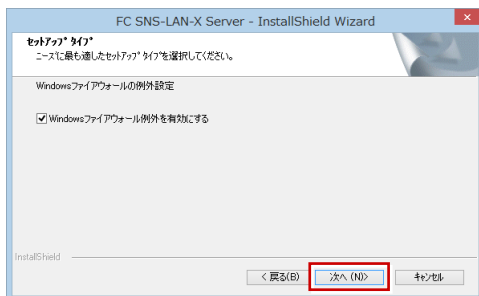
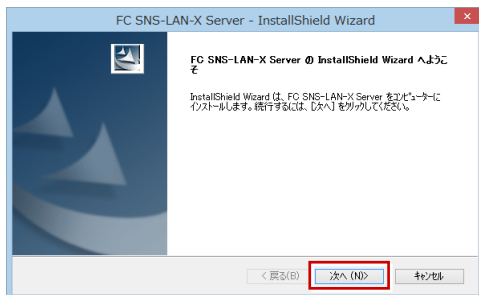
ライセンスを管理するサーバーに、ライセンス管理プログラムをインストールします。

※ SNS-LAN-X サーバーの機能については、**20 ページ**を参照してください。

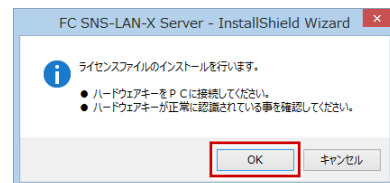
1. サーバーに「SNS-LAN-X 用ライセンス CD」をセットします。
2. 「SNS-LAN-X サーバー」をクリックします。



3. 表示される画面に従って、インストールを進めます。



以下のメッセージが表示されたら、インストールしているサーバーに USB プロテクトを装着して「OK」をクリックします。



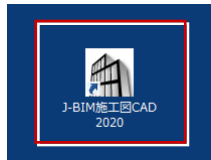
以上で SNS-LAN-X のセットアップは完了です。
続いて、クライアント PC でプログラムのインストールを行ってください。

(4 ページへ進みます)

10 プログラムの起動 (USBプロテクト)

使用するプロテクトを設定して、J-BIM 施工図 CAD を起動します。

1. デスクトップの J-BIM 施工図 CAD アイコンをダブルクリックします。



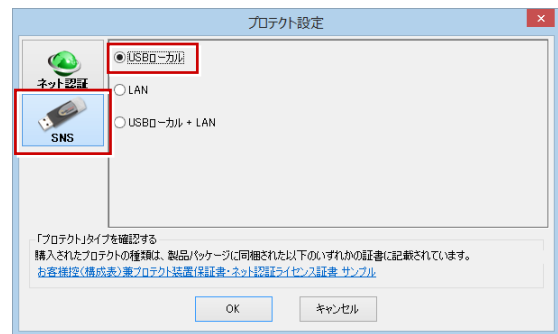
J-BIM 施工図 CAD が起動します。

プログラムが起動することを確認したら、FC コンシエ
ルジュのユーザー登録を行ってください。

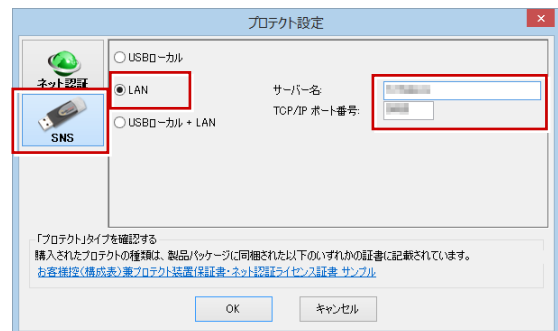
(8 ページへ進みます)

● 起動時にプロテクト設定画面が表示された場合は

起動時にプロテクト設定画面が表示された場合は、コンピューターに装着した USB プロテクトが認識されていることを確認して、「SNS」の「USB ローカル」を選択します。



サーバーに USB プロテクトを装着している場合は、「SNS」の「LAN」を選択します。「サーバー名」に USB プロテクトを装着したコンピューター名を入力して、「TCP/IP ポート番号」が「5093」になっていることを確認します。



※ USB プロテクト【SNS-W】と【SNS-LAN-X】を併用している場合は、「USB ローカル + LAN」を選択してください。

補足 SNS-LAN-X サーバーの機能

SNS-LAN-X サーバーは、ライセンス情報の管理やサービスの開始/停止などを行うアプリケーションです。スタート画面のアプリ一覧の「FC SNS-LAN-X Server」より「FC SNS-LAN-X サービスコントローラ」を選択すると、次のような画面が表示されます。

The screenshot shows the main window of the 'FC SNS-LAN-X サービスコントローラ' application. It features a table with columns for 'アプリケーション' (Application), 'オプション' (Option), 'ライセンス' (License), and '空き...' (Free...). A right-hand menu contains buttons for '開始(S)' (Start), '停止(T)' (Stop), '更新(P)' (Update), '接続ユーザ(U)...' (Connect User...), and 'オプション(O)...' (Option...). Callout boxes provide detailed explanations for these elements.

「サーバ」
SNS-LAN-Xプロテクトを装着しているコンピューター名が表示されます。

「ユーザ ID」
SNS-LAN-X プロテクトのユーザ ID が表示されます。

「ライセンス数」
同時使用可能なライセンス数が表示されます。

「空きライセンス数」
現在使用可能な残りのライセンス数が表示されます。

「開始」
サービスを開始します。SNS-LAN-X プロテクトを使用する場合は、サービスが開始されている必要があります。

「停止」
サービスを停止します。

「更新」
空きライセンスなどの情報を最新に更新します。

「接続ユーザー」
選択したアプリケーションを使用しているユーザーを確認します。

「オプション」
接続設定やログファイルを設定します。

「接続」 タブ
接続で使用するポート番号を設定します。

「使用状況ログ」 タブ
使用されたアプリケーションの記録を定期的に残します。

- 「ポート番号」の初期値は「5093」です。接続に問題がある場合のみ、変更してください。変更した場合はプログラム側のプロテクト設定のポート番号も合わせる必要があります。
- 「使用状況ログ」には「何時何分の」「ライセンスの空き状況」が記録されます。使用するには、
 1. 「ログの出力」チェックボックスをオンにし、「パス」に出力先のフォルダを設定します（「間隔」と「最大履歴数」は適宜に設定）。
 2. 「FC SNS-LAN-X サービスコントロール」が表示されている状態で、ログの取得が開始されます。
 3. 「FC SNS-LAN-X サービスコントロール」を閉じると、ログファイル (FcXprc.log) が保存されます。
 4. 再度「FC SNS-LAN-X サービスコントロール」を起動すると、前のログファイルは別ファイル（ログファイル名+日付）で残され、新たなログの取得が開始されます。